



つのもちよう

第62号

# 議会だより



天狗高原の夏

## 6月定例会

令和2年8月1日発行

### 主な紙面

発行 高知県津野町議会  
☎(0889)55-2038  
編集 議会だより発行調査特別委員会  
発行責任者 議長 大崎公孝  
印刷 笹岡印刷所

令和2年度一般会計補正予算……………	2P～4P
行政報告……………	5P
町政を問う（5人が一般質問）……………	6P～14P

# 一般会計補正予算

6月定例会

地方創生臨時交付金事業  
子育て世帯臨時給付金事業  
こうち農業確立支援事業等

# 1億7,100万円を増額

## 総額84億5千万円

6月定例会は、6月5日から11日までの7日間開かれ、令和2年度の一般会計補正予算他18件が提出され、いずれも原案のとおり可決された。

一般質問には5人が立ち、新型コロナウイルス感染症対策として、地域経済への支援策、こども園や小中学校の長期休業への対応、集落活動センターの今後の取り組み、観光振興、教育振興等について執行部をたずねた。

### 令和2年度補正予算

#### 一般会計補正予算(第3号)

新型コロナウイルス感染症対策として行う地方創生臨時交付金事業1億2千196万円、子育て世帯臨時給付金事業780万円、高原畜産センターの競りシステム更新に、こうち農業確立支援事業2千622万4千円等歳入歳出1億7千100万円を増額し、歳入歳出の総額を84億5千万円とする。

可決(全員一致)

#### 国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

事業勘定で100万円増額。直営診療施設勘定245万9千円増額。歳入歳出の総額を事業勘定7億1千611万9千円、直営診療施設勘定1億5千209万2千円とする。

可決(全員一致)

### 条例の改正

#### 津野町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例

行政手続きにおける情報通信の技術の利用に関する法律等の一部を改正する法律の施行に伴い所要の改正を行うもの。

可決(全員一致)

#### 津野町職員定数条例の一部を改正する条例

円滑な選挙事務運営のため選挙管理委員会の事務部長の職員として、書記(町長の事務部長の職員兼任)を増員するもの。

可決(全員一致)

#### 津野町税条例の一部を改正する条例

軽自動車税の環境性能割臨時軽減措置の適用期限の延長、新型コロナウイルス感染症等に係る徴収猶予の特例及び個人住民税の税額控除に係る規定の整備に伴い改正するもの。

可決(全員一致)

#### 津野町国民健康保険条例の一部を改正する条例

国民健康保険の被保険者が新型コロナウイルス感染症に感染するなどした場合に傷病手当を支給するため改正するもの。

可決(全員一致)

#### 津野町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

厚生労働省通知により、新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少したこと等による国民健康保険税の減免を遡って行うため、規定を追加するもの。

可決(全員一致)

#### 津野町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例

高知県後期高齢者医療に関する条例の一部改正に伴い、後期高齢者医療の被保険者が新型コロナウイルス感染症に感染するなどした場合に傷病手当を支給するもの。

可決(全員一致)

#### 津野町介護保険条例の一部を改正する条例

厚生労働省通知により、新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少したこと等による介護

保険の第1号被保険者保険料の減免を遡って行うため、規定を追加するもの。

可決（全員一致）

津野町学校教育等審議会条例の一部を改正する条例

幅広く住民の意見を取り入れ、審議できるよう審議会委員の構成及び任期を改正するもの。

可決（全員一致）

## その他の議案

満天の星商標登録の使用許諾について

株式会社「高知ヤマザキ」が販売する、津野町産ほうじ茶を使用したパンの商品パッケージに満天の星の商標を無償で使用させるもの。

可決（全員一致）

## 賛成討論

高橋

有名なヤマザキパンが、満天の星の商標を活用し、中四国地方を中心に5万個の販売をするということは、津野町にとって大きな宣伝効果があると思われる。また、今秋以降開業予定のワイヤーアクティビティや天狗荘のリニューアルオープン等に向け、絶大な宣伝効果が期待できることから賛成討論とする。

財産の取得について

津野消防団姫野々分団2部に配備する小型動力ポンプ付積載車を購入するもの。

契約金額

1千135万9千700円

請負者

㈱中村防災サービス

可決（全員一致）

令和元年度小中学校情報通信ネットワーク整備委託業務により、ネットワーク機器及びタブレット保管庫一式を整備するもの。

令和2年度津野町簡易水道（白石1工区）施設整備工事請負契約の締結

契約金額 2千337万5千円  
請負者 リコージャパン㈱

高知支社高知営業部

可決（全員一致）

令和2年度小中学校校務用パソコン更新委託業務により、パソコン機器等一式を更新するもの。

契約金額 828万3千円  
請負者 ㈱富士通四国

インフォテック

可決（全員一致）

令和2年度津野町デジタル同報系防災行政無線整備工事請負契約の締結

契約の方法 指名競争入札  
契約金額 9億3千500万円

請負者 扶桑電通㈱

四国支店

可決（全員一致）

令和2年度高原ふれあいの家天狗荘増改築工事請負契約の締結

契約の方法 指名競争入札  
契約金額 8億9千738万円

請負者 入交建設㈱

可決（全員一致）

令和2年度津野町簡易水道（白石2工区）施設整備工事請負契約の締結

契約の方法 指名競争入札

契約金額 1億2千507万円

請負者 ㈱中山工業

可決（全員一致）

令和2年度津野町簡易水道（白石2工区）施設整備工事請負契約の締結

契約の方法 指名競争入札

契約金額 1億5千180万円

請負者 ㈱又川土建

可決（全員一致）

令和元年度林業専用道馬場山線法面改良工事請負契約の締結

契約の方法 指名競争入札

契約金額 4千990万7千円

請負者 ㈱稲田建設

可決（全員一致）

## 委員会発委

津野町議会会議規則の一部を改正する規則

議場への資料の持込や印刷物の配布には議長の許可を必要としたこと。また、議員は情報通信端末機器（貸与されたタブレット）を議場内に持ち込み活用できること等とするもの。

可決（全員一致）



初のタブレット議会

# 臨時議会

令和2年7月9日  
第4回臨時議会

## 補正予算

### 一般会計補正予算(第4号)

国の地方創生拠点整備交付金を活用し、せいらんの里整備事業に1億9千500万円、林道過年発生災害復旧費として500万円を増額し歳入歳出の総額を86億5千万円とする。  
可決(全員一致)

## 財産の取得

令和2年度避難所環境整備災害用簡易間仕切り購入業務

契約金額 815万3千200円  
契約の相手方 (株)中村防災サービス  
可決(全員一致)

# 議会のうごき

令和2年度避難所環境整備災害用トイレ購入業務

契約金額 748万円  
契約の相手方 (株)中村防災サービス  
可決(全員一致)



避難所パーテーション

## 5月

7 国道197号等整備促進期成同盟会監査

20 全員協議会 (本庁・議長)

22 「高幡消防組合津野山分署葉山出張所及び高幡消防組合津野消防団本部」落成式 (町内・議長)

1 議会運営委員会 (本庁・委員)

## 6月

5 第3回津野町議会定例会 (西庁・議員)

6 休会(9日) 議員懇談会 (西庁・議員)

10 一般質問 (西庁・議員)

11 議案審議 (西庁・議員)

19 議員勉強会 (西庁・議員)

19 須崎土木事務所への要望活動 (須崎市・議長)

25 青少年育成津野町民会議総会 (本庁・議員)

## 7月

9 第4回津野町議会臨時会 全員協議会 (西庁・議員)

10 高幡広域市町村圏事務組合議会7月定例会 (須崎市・議長)

15 議会だより発行調査特別委員会 (中土佐町・議長外)

19 杉ノ川分団落成式及び入魂式 (町内・議長)

22 津野山広域事務組合議会 監査 (栲原町・議員)

議会を傍聴してみませんか。

定例会は年4回です。 3月・12月 (本庁舎議場)  
6月・9月 (西庁舎議場)

たくさんの傍聴をお待ちしています。

# 町長 行政報告



池田町長

今年、新型コロナウイルスにより全国的な「抑制と自粛の春」となった。感染やお亡くなりになられた方々に心よりお見舞い申し上げます。

世界中をみても感染拡大の国があつて予断を許さない状況であり、国内でも依然として新規感染者が発生し地域経済も落ち込んでいる。徹底した感染予防対策と同時に回復に向けての緊急経済対策の実施が求められる。

## 新型コロナウイルス対策

◆ 非常事態宣言を受けて対策本部を設置し、感染予防対策として町民が一丸となつて3密と重なる場所や不要不急の外出自粛を要請してきた。引き続き手洗い、換気、距離確保等の注意喚起を行い、避難所に感染防止に配慮した災害用トイレの整備を進める。

◆ 感染防止から、多数の人が集まる会合の延期や中止、事務室の分室化などとしてきた。さらにインターネットを活用して本庁、西庁、避難所とのウェブ通信ができる環境整備をする。

◆ 町内の宿泊、飲食を伴う27の民間事業者と町の9の指定管理事業者、大型連休を挟んだ4月25日から5月24日までの30日間の休業要請を行い協力を得た。5月15日の非常事態宣言解除により21日間となったが事業再開には感染防止策を整えるよう協力要請をしている。

◆ 今年は天狗荘のリニューアルやフォレストアドベンチャーの整備もあり、観光の大きな節目の年となっている。観光産業を起爆剤に落ち込んだ地域経済の復興に繋げていく。

◆ 町内小中学校は非常事態宣言により4月20日から5月8日まで臨時休校とした。授業時数不足は夏休みの短縮等で確保する。

今回の休校による家庭学習支援に情報機器活用 of 必要性を感じたことから、小学校4年生以下全員にタブレット整備を進める。

## 特別定額給付金及び子育て世帯臨時特別給付金

特別定額給付金は5月12日に町内の全世帯に申請書を送付し、5月末日現在で92・2%の申請率、6月4日時点で89・5%の振込が完了している。

子育て世帯臨時特別給付金は、令和2年3月末に中学生以下の子どもに対して一人当たり1万円を支給するもので、7月中旬頃の交

付を予定している。

## 津野町総合商社化構想

「津野町ふるさとセンター」「満天の星」「天狗荘」の統合方式、出資割合、組織形態などの具体的検討を行っているが、コロナ禍により各社の売り上げが減少し状況が変化している。社会変容の見通しを踏まえた事業計画をたてる。

## 天狗荘、ふるさとセンター

天狗荘は、良好な天気が宿泊人数の増加に繋がり、482万8千円の黒字。

ふるさとセンターは、高知市のJA大型直販店や後半のコロナ禍の影響で670万4千円の減収となった。

## 森林レジャー施設の導入

全国的に知名度の高いフォレストアドベンチャーパークを津野町の新たな森林レジャー施設として町内の民間の事業者により運営整備する。

現在は事業者が計画を作成しており、審査で決定されれば補助金交付決定を通

知し本年10月を目途に運営を開始する予定である。

## 道路整備の要望活動

道路整備促進期成同盟会高知県地方協議会では「物流、観光等の経済活動復興の為の道路整備」など、9項目の緊急提言を決定し、景気が後退することのないよう公共事業の安定的な確保に向けて要望活動をしていく。

## 精華小学校の今後

精華小学校とにじいろ園の保護者との懇談会では、参加が限定的だったが大半が統合もやむを得ないという意見であった。一方、地域には消極的な意見もある。今後、環境が整えば子育て世代の意見を尊重しながら多くの関係者と話し合いを進めて意見集約し、学校教育等審議会に諮問したい。話し合いを継続し、より良い精華小学校の在り方を検討していく。

問 集落活動センターの支援を

答 自立できる支援を行う



西森盛幸

一般  
質問

西森

集落活動センターの今後の運営については、県の補助金がなくなると自立して運営するのに大変難しくなる。自発的な住民の活動にも高齢化やリーダー不足で限界がある。一定行政が支援すべきと思うがどうか。

池田町長

集落活動センターにおいては持続可能で自立できるセンターを目指して支援を行っている。組織をまとめていくリーダー、サポートする支援員が重要になってくる。白石においては県の事業を取り入れながら3年間はセンターに地域おこし協力隊を派遣している。その後3年間は町単独で、人件費見合いの200万円を指定管理料に含めて支援するので協力隊の任期満了後は支援員を地域で雇用していただきたい。



集落活動センターしらいし

問 白石地区へ宿泊施設を

答 地元で議論を

西森

白石活性化組織が旧白石小学校で宿泊施設を計画していたが、消防法で多額の費用がかかるため断念している。

学校跡地でゲストハウスをとという声があるが、承葉塾を改築または新築等、宿泊施設としては。

池田町長

宿泊施設を整備する場合運営体制・採算ベース・人材の確保等課題が多くある。まず地元で議論し、実施したい事業については、共に検討していきたい。



小草山農園

答

地域で議論

問

駄場の農園の管理方法について

西森

白石活性化組織が毎年2回農園の草刈等管理をしている。草を刈るだけでなく、町内外の方をオーナーとして梅の木を植えれば、毎年町を訪れ関係人口の拡大になる。

花木の大公園としては。

池田町長

白石の農園については承葉塾、焼き物工房との一体的な利用を検討していく必要がある。農園を花木の公園にすることは集落活動センターしらいしで議論をつくして具体化することに期待をしたい。

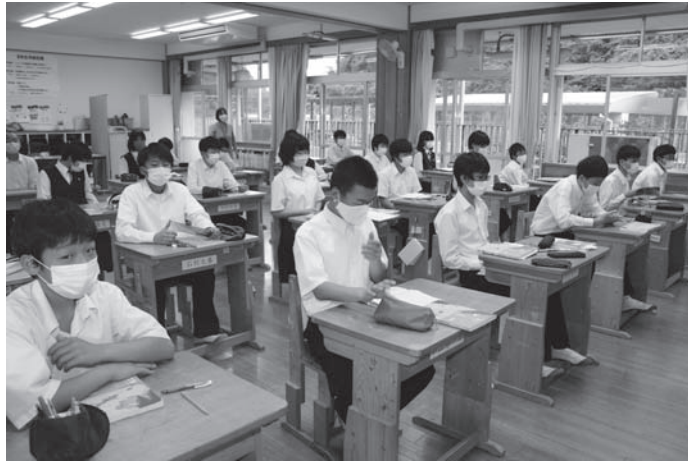
**問** 児童・生徒の学習補償は

**答** 夏休みを短縮する



石川 寿朗

一般質問



マスク着用しての授業(葉山中学校)

石川

新型コロナウイルスの關係で長期休校していた各学校が再開されたが、遅れを取り戻すための授業時数確保対策は。

また、一時期浮上していた9月入学制についての見解は。

久寿教育長

休校の期間については、ゴールデンウィーク、祭日を除き実質授業をしてない日は11日間であった。この間の児童・生徒の学習補償は、夏休みを8月1日から8月24日までに短縮して対応する。

9月入学制については、コロナ感染拡大による学習の遅れの解消や欧米諸国と合わせる国際化の促進に向け4月に議論されていたが、多様な課題が浮き彫りになった。

社会全体の改革が求められ、慎重に検討されるべきであると考えている。

**問** クリアファイル作成を

**答** 進めている



石川

町外からの視察団や来客者用に、資料や観光パンフ等を挟むため、町伝用のクリアファイルを作成してはどうか。

池田町長

現在進めている。

戸田産業課長

PR用のパンフ等はビニール制の手提げに入れて配布している。今年度は硬質なものに変更し、とりはずすと長期間津野町のPR効果を得られるクリアファイルとして使用できるものを考えている。速やかに、その作成に取りかかりたい。



各自治体が作成している、  
宣伝用クリアファイル



**問** 神楽をユネスコ世界遺産登録へ

**答** 関係自治体の強い熱意が必要



津野山古式神楽

石川

平成30年にユネスコの無形文化遺産に、秋田県のナマハゲ等を含む来防神、仮面仮想の神々の登録が決定された。ナマハゲなどの歴史は約200年だが、同じく国の重要民俗無形文化財に指定されている「津野山古式

神楽」は、1千100年以上舞継がれ、充分世界遺産登録の資格があると考える。ともに、国指定の文化財となつた土佐神楽を関係自治体と協力して、登録に向け政府へ要望活動をしては。

川上副町長

ユネスコ無形文化遺産になれば知名度が上がり、入込客、交流人口、観光等に大きな効果をもたらすと想定できる。

全国に約3千ある神楽の中で土佐神楽を世界遺産登録にするには関係9団体7市町の共通認識と熱いエネルギーが必要だと考える。

西森教育次長

国の重要民俗無形文化財に指定され、登録の一つの指標となるが全国的に神楽の数が多くハードルが高い。

今後は、後継者の育成を含め土佐神楽保存会の関係者と意見交換を重ね、伝承活動や魅力の発信に努めたい。

**問** 高齢者のサポートカー購入支援を

**答** 国の新補助制度を周知したい



石川

須崎警察署管内での、交通事故の死傷者は、平成30年が45人、令和元年が54人と増加。内65歳以上のドライバーの事故が約半数で、アクセルとブレーキの踏み間違い等による追突事故が全体の4割を占めている。

サポートカーなら被害の軽減ができたと思う。高齢者の外出支援、安全な移動手段確保の観点から、サポートカー購入にあたり、他自治体のような補助制度の創設と試乗体験講習会を開催しては。

岡崎総務課長

今年の3月9日から国土交通省と経済産業省の事業で満65歳以上の方を対象に新車、中古車問わず2万円から最大10万円までのサポートカー購入補助制度がはじまったので、町民に回覧やホームページで周知したい。

サポートカー講習会は、自動ブレーキ等の先進安全技术を活用した車の試乗会で、自動車メーカーの協力が不可欠。コロナ収束後、メーカーに問い合わせをした

問 相談窓口設置を

答 関係機関全てが窓口



川上 智子

一般  
質問

川上

情報を一元化し、新型コロナウイルス感染症に関する様々な相談に対応できるような「各種相談・支援窓口」の設置が必要では。

池田町長

町内の関係団体全てが窓口になり、情報を共有し連携して支援していく。今後更に感染拡大する場合、経済部門に関しては産業課に新たな人員を配置して対応していかなければならないと考えている。



休み時間も元気いっぱい

川上

コロナ禍の影響は限られた業種だけでなく住民全体に及んでいる。地域における町民生活と商工業者の支援を目的に思いきった施策が必要と考える。今こそ振興券の発行を。

池田町長

まずは、町内事業者が安定した雇用ができるよう支援すれば経済が回復できると考える。地域経済の回復策としては、町外からの入込と消費拡大を狙った「消費喚起事業」を実施する。

問 地域振興券の発行を

答 経営安定が第一

※消費喚起事業

高知市内の満天の星、十津・瀬戸の直販所において500円お買い上げごとにスタンプを押し6スタンプ3千円で千円の津野町内で使用できる商品券となるもの。

## 問 避難所大丈夫？

## 答 新たな避難形態を

川上

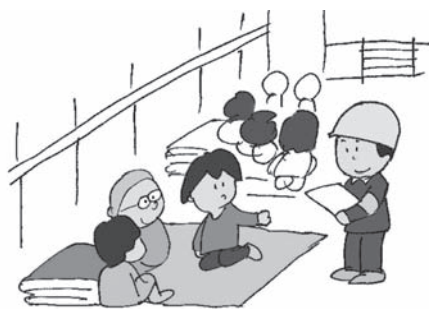
梅雨や台風シーズンを控え、いつ災害が発生するか分からない。

新型コロナウイルス感染症拡大が心配される中、町の対策・考えを問う。

池田町長  
感染拡大の観点から、避難所をどう運営していくかマニュアルを策定中。

岡崎総務課長

危険な場所にいる人は避難することが原則。  
避難所は感染症対策に配慮した運営となり、スペース等快適性で今までより劣る環境となってしまう。  
在宅避難・垂直避難等分散避難の新たな避難形態を町民と共に考えていく。



### ※在宅避難

自身と自宅の安全が確保できたなら住み慣れた自宅での生活を続けること。

### ※垂直避難

大雨・台風などで浸水の恐れがあつても自宅において生命の危機が生じず、安全確保が可能な場合は、感染拡大防止及び避難することによる二次被害を防ぐため、2階以上に避難すること。

## 問 高校受験への対策は

## 答 授業が全て

川上

新型コロナウイルス感染症に伴う一斉休校などで、高校受験を控えた3年生は特に不安を感じているのではないか。何らかの対策を講じる予定はないか。

久寿教育長

いかに授業で子どもをやる気にさせられるか。希望の学校に適する学力をつけるのは生徒自身。人材育成、道徳や人権学習と併用しながら子ども自身の精神面を高めている。  
受験対策に委員会主導で対策を講じることはない。

その他の質問

問 一斉休校の長期化による子どもたちへの影響とメンタルサポートについて

答 全校生徒にアンケート実施。スクールカウンセラー、ソーシャルワーカーと連携し対応



自習室で学ぶ中学3年生



西元和代

問 フォレストアドベンチャーの計画は

答 しっかりと設計段階で審査

## 一般質問

西元

フォレストアドベンチャー  
― 施設整備計画の進捗状況は。 ―

冬期の経営は厳しい場所運営スタッフが確保できるか等心配もある。厳しめに考え、ある程度管理監督していく義務があると思うが、どう関わっていくのか。

戸田産業課長

5月18日の事業者決定後、詳細設計と積算見積後の補助申請が必要だが、積算にあたり関連事業者がコロナの影響で来られないため一カ月遅れの見込み。

平時の入込で9千人を見込んでいたが5〜7千人でも経営は成り立つとのこと。経営課題にならないよう人的配置も含め補助事業者と協議しながら進めていく。

池田町長

町内観光の一役を担うというところで様々な関連部署と繋ぎながら運営がなされるよう適切な指導をしていく。今後の設計段階で懸念することは全てチェックする。まずは、この審査をしっかりと進めることだと考えている。

西元

コロナの打撃は長期戦で、後々広まる可能性がある。通常業務の上にコロナ関係の仕事が増えたわけだが、職員体制は十分か。

池田町長

経済対策の業務が非常に多く、特に産業課は業務過多になっていくが何とかクリアしている。第2波3波と長期化すれば専門的な配置をしなければと考えている。



フォレスト

アドベンチャー 祖谷



問 現職員体制で大丈夫？

答 何とかクリア

## 問 民生児童委員の成り手不足解消策は

### 活動紹介の方法を検討

西元

民生児童委員の成り手不足解消に向けた取り組みは、担当地域により違いがあるため政務活動費形式の活動費があればメリットも大きいと思うがどうか。

また、担当課以外にも民生委員の抱える課題を繋ぎやすい環境、職員の意識が退職後の地域活動に繋がるような働きやすい職場づくり、「一日子ども民生委員」の取り組み等で将来に向けた土壌づくりを。

下元介護福祉課長

池田町長

高知県版地域学校協働本部事業で各学校に民生委員も入っている。まずは、その中で理解を深め、それができた段階で民生委員と共に行動するよう段階を経て育んでいきたい。

民生委員は現在一人欠員。活動費は今年4月より年間21万円に増額したが、行政・社協と共に顔の見える関係をつくり精神的負担を減らすことが一番だと考える。政務活動費形式の活動費については研究させていきたい。

役場OBの活躍は重要になると思いOB会を組織してほしいとお願いしているが、なお管理職と共に現職の時から職員とのコミュニケーションを心がけ、働きやすい職場づくりに取り組んでいく。



民生児童委員定例会

広報では改選時の顔写真のみ掲載していたが、活動内容や重要性の住民への周知は大事。活動強化週間も含め色々な方策を検討する。

## 問 いつから可能？ 有事のオンライン授業

### 答 国の内示待ちにより不明

西元

感染症による長期休校に備えオンライン授業が可能になるよう環境整備をするとのことだが、有事に備えて実用できるためのコミュニケーションが必要。コロナ第2波を心配するが、目途は最短でいつ頃になるのか。

久寿教育長

近隣市町村と勉強会を重ね方向性は決まった。オンライン授業は友好的な一つの手段として捉え、オンラインだけに頼ることは考えていない。

西森教育次長

中学校は一人一台の整備ができていますが、小学校は昨年の補正予算での5・6年生の分の国からの内示もまだ届いていない。今回の分も国の内示を待ち、その後の発注になる。全国的に大量のタブレット端末が整備されるとのこと、いつ頃になるか不明。



# 一般質問



大崎 健夫



道路改良工事

問 建設労働者の育成を  
答 努力している

大崎

町内では建設業界の出入不足から、労働力確保に展望が持てない。建設業が元気でないければ、災害発生時における救済活動はお手上げ状態になる。就労人口の不足は働き方改革、生活費の確保、賃金問題ではない

吉村建設課長

かと思う。設計単価と実質支払い単価の格差是正を指導すべきでは。また、同業者間の丸投げ発注のような行為が低賃金の要因の一つではないか。

賃金問題については直接指導はできないが労働力の確保については年間を通じて切れ目のない発注や工期設定などに努力している。丸投げは法律に従い認められない。なお、下請け内容については総合評価に反映していく。

問 地域おこし協力隊は

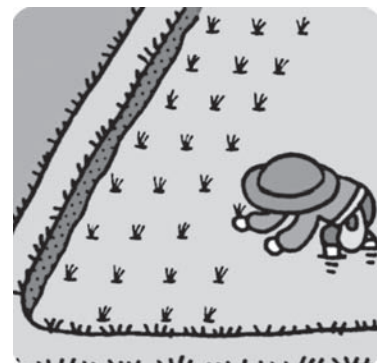
答 任期満了後も支援する

大崎

平成23年から協力隊を受け入れ、任期終了者6人のうち5人が町内に定着してそれぞれの活動を行っている。任期満了後の支援はどのように考えているか。

三本企画調整課長

国の制度で上限100万円の起業支援制度もあるので今後のことについては相談して町内定着を目指していく。



## 傍聴記

6月5日、初めて議場に足を運び傍聴し、すごく貴重な経験をしました。今まで町議会というと、町長をはじめとした議員さん達がお堅い議論をする場であると漠然とした先入観がありましたので傍聴となると自分には縁のない、程遠い存在であると考えていました。

ところが人生は何があるか分からないもので、普段は介護の仕事をしながら畑いじりやウォーキングをして、のんびりと過ごしている22歳の若造ですが縁あり一町民として町議会を傍聴することになりました。傍聴を通して自分の中で、どこか遠い存在であった町議会が身近になり、地方創生や地域おこしが叫ばれる昨今において、自分自身の町づくりへの考え方や行政への関わり方を変えたい大きな一歩になったの

ではないかと思えます。

それでは傍聴内容の感想になりますが、やはり議会広報で内容を知るより傍聴に参加して見聞きする方が議場でしか味わうことができない、臨場感や緊張感もあり良いと思います。

しかし議場では会議当日の大きな日程表しか配布されず、町がコロナ対策で補助金や控除などの支援策を講じてはいるものの町民である傍聴人には具体的な資料が渡されず分かりづらいものがありました。特に数字や金額については可視化されたグラフもなく、これでは聴いている人に優しくなく、とても開かれた議会であると言えず傍聴人が増えるはずがないと感じました。

県内2例目で経費削減の為、ペーパーレス化を進めてタブレット端末を導入し、議会改革に努めているようですがが民主主義の必要経費として傍聴人にも記者の方々と同じく議会内容の資料を

配布しても良いのではないのでしょうか。

今回は傍聴したのが定例会初日ということもあり、予算などの説明だけでしたので次回は議員さんと町長のやりとりに興味があるため、9月の一般質問を傍聴してみようかと思えます。

津野町 姫野々

竹崎虎太郎

### その他

#### 傍聴アンケートのご紹介

★日頃思っていることも質問にあり、すぐく関心をもって傍聴させてもらいました。

★久しぶりに傍聴させていただきました。とても面白かったです。脳が活性化されました。



次回もぜひ、お越し下さい。ありがとうございました。

## タブレット導入しました!!



議会だより編集委員会の様子

6月定例会議会よりタブレットを導入。県内初の執行部も含めたタブレット導入で資料の印刷にかかる紙やインク代、人件費の削減と共に、より円滑な議会運営を目指します。

さっそく事前の内容確認や提案等の記入を委員会当日に共有しながら協議するなど、定例会だけでなく委員会活動等にも活用しています。

## 読者クイズ

下記の問題の○に入る言葉のうち①～⑤を繋いで言葉を完成させてね。

答えは今月号の議会だよりの中にあるよ？



- ①○○○発生時の救済活動は建設業が元気でなければならない。
- 持続可能で自立できることを目指す集落活動○②○○。
- 国の重要民俗無形文化財に指定されている津野山○○○○③○。
- スクール○○○○④○、ソーシャルワーカーの連携で子ども達のメンタルサポート。
- 5月18日に事業者決定した○●○⑤○アドベンチャー施設整備計画。

前回の答えは「はつぜつく」でした。厳正な抽選の結果、下記の5名が当選されました。おめでとうございます。

お寄せいただいた感想

ご意見の一部紹介

★今年はいよいよ今年になりましたね。こんな時こそ皆で助けあっていきたいと思いますね。

★クイズのおかげで今まで以上に議会だよりが身近になりました。

★早くコロナウイルスがおさまって学校にいつものように行きたいです。図書館、プールにも行きたいです。

官製はがきに、住所、氏名、年齢、電話番号、クイズの答え、感想など一言をご記入のうえ、8月末までに下記の事務局までご応募下さい。正解者の中から抽選で5名の方にプレゼントをお送りいたします。なお、当選者は次号にて発表いたします。どしどしご応募下さい。

残念ながら今回当選されなかった方も、またチャレンジしてね！

### 当選者

永野	大崎 徹男	様
姫野々	寺元 真希	様
船戸	上岡 昭夫	様
姫野々	高橋 千代	様
姫野々	明神 桃香	様



### 津野町議会だより発行調査特別委員会

委員長	西元和代
副委員長	大崎芳章
委員	中山昭英
委員	松尾信壽
委員	西森盛幸
委員	川上智子

## 編集後記

6月定例会よりタブレット端末の議場への持ち込みが許可された。

情報機器の苦手な私にとつては、不安いっぱいだった。タブレット議会のスタートとなった。ペーパーレス化・町民への情報提供サービスはもちろん災害時における情報収集・伝達手法としてのタブレット活用も視野に入れている。

この議会だよりが発行される8月には少しは上手くタブレットを使用できているだろうか。

今しばらくは、紙資料と併用しながらのタブレット会議となるが、完全ペーパーレス化となる日を目指し「習うより慣れよ」で頑張ってみよう。

文責・川上智子

※分かりやすい紙面にと心がけています。読後のご感想、ご意見をお寄せ下さい。

〒785-10201

津野町永野四七一一

津野町役場議会事務局

議会だよりは、環境配慮型の再生紙を使用しています。